

おばま 市議会だより

No. 177



令和4年度決算を認定

令和4年度決算を

認定

一般会計 歳入 186億1,191万4,536円
歳出 178億9,739万2,792円

決算審査は、市の予算が適正に目的どおりに使われているのかを審査し、今後の予算編成や将来の財政計画に反映するための重要な役割を担っています。審査に当たっては、計数だけでなく、適法性を確認したほか、効果的に執行されたかといった点を重視しました。

北陸新幹線建設促進事業

867万1358円

説明

北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けて、機運醸成を図るために開催する決起大会や幅広い啓発活動に要した経費。

問

北陸新幹線敦賀以西の令和5年度着工が見送られた中、今後の活動方針は。

答

PR活動や要望活動等を継続して実施することが敦賀以西の早期の認可・着工につながることを、今後も各種団体と連携した取り組みを進めていく。



早期全線開業に向け氣勢を上げる市民
(令和4年12月10日、遠敷)

新交通システム導入検討事業

945万8727円

説明

デマンドバスなどの運行方法・運行形態の検討を行うため、実証実験を行った。

問

デマンド交通および市街地循環バスの導入に向けた事業者等との合意形成の状況は。

答

交通事業者におけるドライバーの確保等が大きな課題となる中、現在各種団体と協議を進めており、今後できるだけ早い時期に方向性を示したい。

ふるさと未来づくり協働推進事業

2086万7200円

説明

まちづくり協議会に対し、ふるさと未来づくり協働推進事業交付金を交付した。

問

「算定方法の見直しが必要である」との市の成果報告を踏まえた令和6年度の予算措置への反映方針は。

答

まちづくりに意欲的な地区へのインセンティブや人口比率を基にした算定方法などを現在検討中である。

「おばまグルメ割」発行事業

774万6470円

説明

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経営が続く市内飲食店を支えるため、クーポン（おばまグルメ割）を追加発行し、市民をはじめ観光客の消費拡大により、市内飲食店の経済の早期回復を図った。

問

おばまグルメ割の使用率が、同様に実施した他の二つのおばま割発行事業やおばまチケット発行事業と比較して低調であった理由は。

答

おばまグルメ割は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店を対象に実施したが、第7波が発生したことに加え、テークアウトが割引の対象外であったことが影響したものと分析している。

問

本事業で得られたデータを今後の政策にどう生かすか。

答

本事業の委託先であるふくいデジタルバウチャー推進協議会において、クーポンが使用された店や年代については分析されているが、市民の購買動向までは把握がなされていない。今後、市民の購買動向に関するデータの提供を委託先に依頼したい。

ふれあいスクール事業

394万1665円

説明

小浜市ふれあいスクールに通所する不登校の児童および生徒に対して集団生活への適応指導を行い、早期の学校復帰に向けた支援を行った。

問

令和4年度中に同所に通所していた12名のうち7名が学校に復帰し、5名は現在も継続して通所しているが、学校に復帰できない理由は。

答

それぞれが抱えている状況によって理由は異なるが、友人関係や家庭環境のほか、最近では起立性調節障がいなどの要因もあると聞いている。

問

同所の職員体制は。

答

所長が月曜日から金曜日までの常勤で、2名が交代で勤務しており、常時2名体制で指導に当たっている。



決算審査に伴う管内視察を実施

期日 9月26日（火）

予算決算常任委員会では、令和4年度の決算審査の一環として、次の4ヶ所の視察を行い、予算が適正に執行されたことを確認しました。

視察先

- ・ 旧古河屋別邸（護松園）
（護松園周辺環境整備事業）
- ・ ホテルアーバンポート
（恐竜ホテル改修支援事業補助金）
- ・ 小浜浄化センター
（小浜浄化センター施設更新）
- ・ 道の駅若狭おばま
（道の駅管理事業、官民連携による道の駅リニューアル事業）



護松園周辺を視察



迫力ある恐竜に見入る

くまなくチェック 委員会審査

■ 可決した9月補正予算

一般会計

補正額
2億 9,034万円



特別会計

既決予算額 76億 7,833万円
補正額 ▲1,200万円

企業会計

既決予算額 35億 6,583万円
補正額 ▲ 622万円

9月定例会では、北陸新幹線敦賀開業に向けた受入体制の整備に関して、まちなか電動モビリティ実証事業などの補正予算を可決しました。審査の過程であった質疑などを紹介します。

答

市が推進しているまち歩き観光において課題となっていた歩行困難な方への対応として、安全性を考慮した電動カートの導入を検討したところであるが、その効果等が現時点では不透明であるため、無料で貸し出す実証実験から開始する。貸出料金については、今回の実験においてアンケート調査を実施するほか、本格導入前には有料貸出しの試行期間を設ける予定であり、これらの結果を踏まえて最終的に決定する予定である。

問

電動カートの有料貸出しによる事業化を視野に入れている中、今回無料貸出しによる実証実験を行うことの妥当性は。

まち歩き観光をもっと便利に

まちなか電動モビリティ実証事業
99万3,000円

2次交通の強化による市内観光の利便性向上を図るため、電動カートを使用した実証実験を行うための経費



三丁町をカートで走る参加者



実証実験に使用された電動カート

ひとり親家庭習い事支援事業

284万円

説明

ひとり親家庭の子ども（小学4年生～6年生）を対象に習い事にかかる費用の一部を支援するもの。

対象となる習い事の例

スイミング、サッカー、野球、空手、ピアノ、ギター、ダンス、バレエ、書道、そろばん教室、料理教室など



問

習い事のうち、学習塾が補助対象にならない理由は。

答

本事業は県の設計した制度に基づき取り組むものであるが、学習塾については現在、ひとり親家庭の児童に対して月3回の学習支援事業を行っていること等を勘案し、補助対象についていないと聞いている。

問

各種習い事の教室の市内における受け皿の状況は。

答

市内では、市のスポーツ協会や文化協会、民間事業者等が多様な教室等を開いており、県が例を示す習い事のほとんどの受け皿があるものと考えている。

消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出するよう求める請願

内容

新型コロナウイルス感染症の危機を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根差して活動する中小企業の存在が不可欠であり、消費税のインボイス制度の実施中止を求める意見書を国に対して提出するよう求めるもの。

賛成意見

・インボイス制度の影響を受ける小規模事業者等の理解が進んでいない。

反対意見

・免税事業者等への影響はあるが、国において様々な支援措置が実施されている。
・今後、消費税を適正に管理するためにインボイス制度は必要である。

健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に提出することを求める請願

内容

マイナンバーカードの手続きができずに健康保険証を持っていない人が生まれる懸念や、健康保険証廃止に対する反対の世論が高まっていることなどから、健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に対して提出するよう求めるもの。

賛成意見

・医療DXのメリットが国民に十分に周知されていない。
・マイナンバーカードとの一体化によるトラブルが発生している。

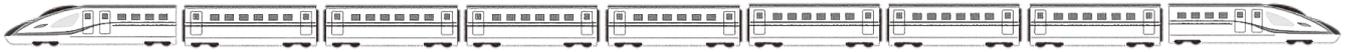
反対意見

・トラブルについては、総点検を推進するとともに、再発防止策を徹底するよう国から指示が出されている。
・マイナンバーカードとの一体化は、医療の質向上のために必須である。



早期着工への熱意よ届け！

～北陸新幹線早期全線開業を目指し、意見書を国へ提出～

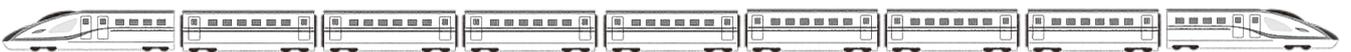


北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書（概要）

（令和5年10月3日可決）

北陸新幹線全線開業を一日も早く実現するよう求めるものです。
要望事項は以下の4項目です。

- 敦賀・新大阪間について、令和7年度当初までに着工できるよう着工5条件の早期解決を図るとともに、開業までの期間を最大限短縮し、一日も早い全線開業を実現すること
- 環境影響評価を早期に完了させ、まちづくりを進める上で必要な小浜市域における駅位置・詳細ルート等を速やかに公表すること
- 北陸新幹線事業推進調査については、沿線住民の理解を得ながら必要な調査等を先行的・集中的に行い、施工上の課題を早期に解決するとともに、沿線自治体との情報共有を綿密に行い、連携して事業を推進すること
- J R小浜線は特急列車が運行されておらず、また新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、敦賀・新大阪間の整備に伴い経営分離される並行在来線には該当しない旨、国の考えを明確にすること



◆議会活動日誌◆

◆8月

- 1（火）産業教育常任委員会、若狭佳日グラウンドオープン記念式典、視察受入れ（長野県上田市）、若狭マリニピア2023花火大会
- 3（木）京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会、鯖街道まちづくり連携協議会合同滋賀県要望（滋賀県大津市）、小浜市・若狭町総合振興協議会
- 4（金）広報推進特別委員会、箸まつり開会式
- 7（月）総務民生常任委員会
- 8（火）議会運営委員会、小浜市・おおい町総合振興協議会（おおい町）、県道岡田深谷線改良促進期成同盟会総会（おおい町）、深谷相生間道路建設促進同盟会総会（おおい町）

9（水）福井県市議会議長会定期総会（福井市）

10（木）全員協議会、政策討論会

12（土）万灯祭

17（木）議会運営委員会

18（金）全員協議会、産業教育常任委員会

19（土）第32回姉妹都市「小浜市・奈良市親善字輩野球大会」交歓会

21（月）国道162号大手橋・西津橋改修促進期成同盟会総会、北川改修促進期成同盟会総会

22（火）総務民生常任委員会、福井県市議会議長会福井県要望（福井市）

24（木）令和5年第4回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、広報推進特別委員会

26（土）福井県戦没者追悼式（越前市）

28（月）公立小浜病院組合議会

29（火）産業教育分科会

30（水）総務民生常任委員会、分科会

◆9月

1（金）議会運営委員会

令和5年第4回定例会の採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名	
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について	認定	令和4年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について		令和4年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)		令和4年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	
	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)		令和4年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
予算	令和5年度小浜市一般会計補正予算(第4号)		令和4年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	令和5年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		令和4年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	令和5年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		令和4年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	令和5年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		令和4年度小浜市水道事業会計決算の認定について	
	令和5年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		令和4年度小浜市下水道事業会計決算の認定について	
	令和5年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)		市会案	小浜市議会基本条例の一部改正について
	令和5年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)		意見書	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書
令和5年度小浜市下水道事業会計補正予算(第2号)	人事		教育委員会委員の任命について(村上 郁子氏)	
条例	小浜市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業ならびに特定子ども・子育て支援施設の運営に関する基準を定める条例の一部改正について			

賛否が分かれた議案等

否=賛成少数(否決・不採択) ○=賛成 ×=反対

項目	件名	採決結果	浦谷梨華子	佐野達也	上野一	世戸玉枝	杉本和範	東野浩和	川代雅和	岡泰宏	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	池田英之	小澤長純	今井伸治	下中雅之	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対	
請願	健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に提出することを求める請願	否	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	2	14
	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出するよう求める請願	否	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	1	15

藤田靖人議員は議長のため、採決には加わっていません



今号の表紙

秋晴れの放生祭

コロナ禍により規模を縮小して開催されていた放生祭が、4年ぶりに通常の形で開催されました。晴天に恵まれ、街が熱気に包まれていました。

※写真の一部を加工しています

◆10月

- 7 (木) 令和5年第4回小浜市議会定例会、議会運営委員会、全員協議会、議会報告会連絡会
- 8 (金) 令和5年第4回小浜市議会定例会、総務民生常任委員会、予算決算常任委員会全体会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会
- 11 (月) 総務民生常任委員会
- 13 (水) 総務民生常任委員会
- 14 (木) 令和5年第4回小浜市議会定例会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会、広報推進特別委員会
- 15 (金) 議会運営委員会
- 19 (火) 総務民生分科会(決算審査)
- 20 (水) 総務民生分科会(決算審査)
- 21 (木) 産業教育分科会(決算審査)
- 22 (金) 産業教育分科会(決算審査)
- 25 (月) 総務民生常任委員会
- 26 (火) 予算決算常任委員会管内視察
- 28 (木) 予算決算常任委員会全体会
- 3 (火) 令和5年第4回小浜市議会定例会、議会運営委員会、全員協議会、視察受入れ(長野県上伊那広域連合)4日
- 2 (月) 公立小浜病院組合議会、赤い羽根共同募金街頭募金活動
- 1 (日) 北陸新幹線試験車両歓迎セレモニー(敦賀市)

市政を問う！一般質問

令和5年第4回(9月)小浜市議会定例会

氏名	質問項目	氏名	質問項目
上野 一	1. 河川の治水対策について 2. 獣害対策について	世戸 玉枝	1. パートナーシップ制度の導入について 2. 中学校給食の業務委託について 3. 小浜の漁業関係者の風評被害を防ぐために
池田 英之	1. 集落の活性化について 2. 人手不足の解消について	浦谷 梨華子	1. 乳幼児の集団健診について
杉本 和範	1. 地下水の利活用と保全について 2. コミュニティセンターの可能性	岡 泰宏	1. 福祉政策について
東野 浩和	1. 市職員の柔軟な働き方改革について	今井 伸治	1. 危険への対応について 2. 北陸新幹線について

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

小浜市の獣害対策について



うえの 一はじめ

問 過去5年間の農作地、農作物の被害状況について伺う。

答 本市の過去5年間の鳥獣害による農作地、農産物の被害面積および被害額については、平成30年度は3.9haで98万円、令和元年度は7.9haで452万円、令和2年度は9.4haで273万円、令和3年度は1.9haで257万円、令和4年度は0.9haで132万円となっている。これまで最も被害が大きかった平成20年度の58ha、1740万円に比べ大きく減少している。また、猪による畦や土手の掘り起こし、鹿、猿による家庭菜園や果樹類の食害や家屋への侵入など、農業共済組合の調査に表れていない被害もあると認識している。このことから、市ではGPS発信機を活用した二ホンザルの調査をしており、群れの数や行動範囲、頭数などの把握を進めている。

問 金網柵等の維持管理について伺う。

答 本市の鳥獣害対策については、従来から、恒久金網柵や電気柵による「侵入防止策」、猟友会による「捕獲・駆除を進めている。市内にはこれまで、恒久金網柵は108km、電気柵は193kmが設置されており、市は地域に対し恒久金網柵は平成20年度から、電気柵は平成6年度から原材料支給を行っている。また、金網柵等の設置後の点検や補修などの維持管理については、市の多面的機能支払交付金支援制度などを活用して対応している。



人手不足の解消に採用活動の支援を！



いけだ ひでゆき 池田 英之

問 本市における限界集落、準限界集落の現状と課題は。

答 高齢化集落(限界集落)は9区で6.1%、準高齢化集落(準限界集落)は73区で49.7%となっている。今後、人口減少と少子高齢化がさらに進むことで、担い手不足、空き家の増加、森林や田畑の荒廃、伝統的祭事の衰退などが懸念される。

問 集落活動の維持に国の集落支援員制度を活用できないか。

答 まちづくり協議会機能を補完する集落対策として検討していきたい。

問 食のまちづくりの中に、集落の活性化対策を位置づけられないか。

答 各集落における食文化継承の取組みは「先人から受け継いだ食資源を磨き、地域を活性化していく」という食のまちづくりの理念そのものであり、今後も積極的に進める。

問 市内企業の人手不足の現状と景気状況は。

答 市内中小企業112社に対し聞き取りの結果、「従業員の確保」を問題点とした企業が26社あり、前年同期よりも6社増加する等、人手不足が深刻化している。総合景況判断は、コロナ禍の前年同期に比べ全業種において上昇したものの、先行きは不透明。

問 採用活動における企業への支援策は。

答 高校や商工会議所、企業等と連携し企業と生徒・保護者のマッチングの機会をより多く創出し、企業が抱える問題解決に取り組み、地元就職率向上に取り組みたい。



地下水を活用し守る！世界に誇れる湧水



世界に誇る湧水のまち WATER CITY OBAMA



問 市長の地下水活用と保全への考えは？

答 水は貴重な地域の財産であり、適正な利用とともに、その恩恵を将来にわたり享受できるように、保全していくことは大変重要であると認識している。児童・生徒が水循環の知見を深めることは食育推進に深く関わることから、有意義である。

問 保全検討委員会からの五つの提言は。

答 「節水型の消雪装置導入の推進」は市が管理する道路の1ヶ所と、県が管理する道路の4ヶ所カメラ型積雪センサーを導入。「地下水に関する学習プログラム」の策定と実施は出前教室で小学校で水に関する環境学習を実施。保育園11園で講座を実施。

問 小浜平野地下水調査とは。

答 調査期間は平成25年度～27年度。上水道水源である地下水の現状評価・将来予測、持続的利用の課題を抽出、今後の水道行政、地下水保全や利活用による将来のまちづくりの参者の目的で実施。事業費約5500万円。



すぎもと かずのり 杉本 和範



「市職員を地域に活かす兼業の推進を」

問 全国的自治体の間では、職員の兼業や副業を積極的に促す動きがあり、国も後押しする方向性を示しているが、その背景は。

答 国では民間における多様で柔軟な働き方の必要性や、人口減少に伴う人材不足等を踏まえ、安心して兼業や副業に取り組める環境整備を進めている。また、地方自治体においても、地域との協働活動を通して職員の自己研鑽やキャリアアップなどにつながることや、地域の担い手不足の解消等を目的に兼業や副業の取組みが徐々に広がっている。

問 本市の状況と今後の促進に対する考えは。

答 本市では、職員が報酬を得て事業や事務に従事する必要がある場合には、一定の基準を設けて許可を行ってきた。具体的には職務と当該営利企業等との間に利害関係がなく、職務の遂行にも支障がない場合および公務員として適当であると認められた場合で、これまで、統計調査員や消防団員、部活動の指導員等に年間10件程度許可してきている。また、全国的に高齢化等に伴う地域の担い手不足の課題に対して、職員が兼業等により地域の活性化に寄与することが重視される中、本市においても、職員そのような活動はスキルアップを図ることができ、公務を進める上でも役に立つと認識している。一方、地方公務員法における意義や位置づけ等を十分検討した上で、職員の働きがいや働きやすい環境整備について先進事例を研究していきたい。



ひがしの ひろかず 東野 浩和



中学校給食を直営に

問 業務委託の法律は、市の食育方針を事細かく業者の調理員に伝えることを、禁止している。これで食のまちづくりに基づく学校給食という大事な事業を遂行できるのか。今後の業務委託に対する市の考えを問う。

答 業務委託の効果と課題等の検証、分析を行い、引き続き、より安定的な学校給食の提供の継続に努める。

問 調理員不足で小浜市の中学校給食を業務委託した。委託後の状況は。

答 営業経費、消費税が必要となり、年間約800万円の経費増。昨年度検証では、調理員の人員確保が、業務委託の成果であった。

問 小浜市議会は、「調理員を募集しても応募が少ない要因を分析し、待遇の改善を図る必要がある」と、提言している。小浜市の給食調理員の処遇について聞く。まず勤務時間は。

答 小学校に勤務する給食調理員の勤務時間は、主任調理員は7時間30分、調理員は6時間15分である。現在、調理員の勤務時間が短いのは、学校環境整備の仕事がなくなり、給食業務のみを行っているためである。

問 主任調理員で15分、調理員で1時間30分も短くなった。人員の補充なく、たいへんきつい労働だ。処遇はどうなっているか。

答 給食調理員の報酬は、月額支給である。春休みと冬休み、および夏休み期間の7月中は、月額報酬を支給。8月は支給していない。8月分の社会保険料は、9月に2ヶ月分納付してもらっている。



せと たまえ 世戸 玉枝



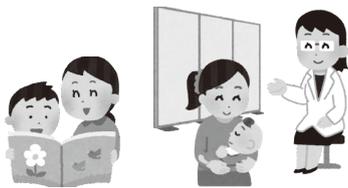
12月からの乳幼児の集団健診に期待！



うらたに りかこ
浦谷 梨華子



- 問** 12月からのようになりスタートを切るか。
- 答** 12月からの新しい健康管理センターでの乳幼児の集団健診では、施設2階全体を使用し、空調が整ったワンフロアで仕切られた個室の診察室や視覚検査の部屋を配置している。さらに、様々な健診スタイルに合わせた順路を設定できる構造により、お子さんと保護者がスムーズに受診することができる。同フロアにある調理実習室を活用して、6ヶ月健診の離乳食を再開する予定。さらにホール付近には授乳室やおむつ替えスペースを配置し、使用済おむつ専用のごみ箱を完備するなど利便性を高めていきたい。
- 問** 待ち時間に遊べる玩具の充実を図っては。
- 答** それぞれの健診の年齢に応じた玩具や絵本を準備する計画をしている。3歳児健診ではお子さんが体を動かしてリラクゼーションできる場所を作り、待ち時間を楽しめる工夫を取り入れていく。
- 問** プライバシーに配慮した健診体制へ変えることは可能か。
- 答** パーテーションによる仕切りの設置や脱衣後に身体を覆うタオルを準備するなどのプライバシーへの配慮をはじめ、待ち時間などの短縮なども考慮しながら、集団健診での受診者の負担を可能な限り軽減できるように努めていく。



「福祉政策」を問う



おか やすひろ
岡 泰宏



- 問** 生活保護制度と現状について。
- 答** 健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する制度である。令和4年度は145世帯で、10年間横ばいの状況。
- 問** 障害年金制度と現状について。
- 答** 公的年金の一つである障害年金は、病気やけがによって生活や仕事に制限されるようになった場合に受けとることができる。小浜市における障害年金受給者数は、令和4年度は609人であり、年々増加傾向にある。年金の請求手続きについては、教習年金事務所又は市役所市民福祉課にご相談いただきたい。
- 問** ひとり親家庭が利用できる制度について。
- 答** 母子家庭や父子家庭といった「ひとり親家庭」への支援については、代表的なものとして18歳未満の子どもを養育するひとり親家庭の生活の安定を目的に、児童扶養手当を支給している。令和4年度の児童扶養手当の受給者数は174世帯となっており、離婚件数の減少やひとり親家庭の年間収入の増加といった様々な要因により、年々減少している。子ども未来課内に「母子・父子自立支援員」を配置し、様々な相談に対応し、きめ細やかな支援を実施している。
- 問** 高額療養費制度について。
- 答** 高額療養費制度とは、病気やけがなどで長期入院したり、手術を受ける等により、1ヶ月で一定の金額を超えた場合、その超えた額をあとで払い戻しする制度である。

小浜線の利便性向上と敦賀以西要望活動



いまい しんじ
今井 伸治



- 問** 北陸新幹線敦賀開業に伴うJR小浜線の復便・増便等、利便性向上に向けた取組みを問う。
- 答** 令和3年10月にJR小浜線が減便されてからこれまで県や沿線市町と連携しながら、復便・増便等をJR西日本に対し、再三要望してきた。8月30日にJR西日本から北陸新幹線金沢・敦賀間の開業日と運行本数が公表されたので、今後開業に向けて行われる敦賀発着時刻等のダイヤ設定作業で、小浜線との接続性の高いダイヤを、県や沿線市町と連携して、JR西日本に対し強く要望していく。
- 問** 敦賀・新大阪間の早期着工、早期全線開業に向けた要望活動を問う。
- 答** これまでも懸命に北陸新幹線敦賀・新大阪間の早期着工、早期全線開業を国、与党PTに求めてきたが、令和5年度当初の着工見送りに続き、令和6年度中の事業実施計画認可および着工が困難との見通しは、誠に遺憾である。今後の要望活動においても、国や与党PT、鉄道・運輸機構に対し、駅・ルートを速やかに公表し、令和6年度政府予算に敦賀以西の整備費の計上を引き続き求めていくとともに、早期の認可・着工と、敦賀・新大阪間の一日も早い全線開業に向け全力で取り組むので、市民や県、市議会、嶺南市町、経済界の皆様のご協力をお願いする。

議会の傍聴に来ませんか

以下の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に、市役所5階の議会事務局で受け付けをお願いします。会議の途中でも入退室ができますので、お時間が許す限り、ぜひお越しください。

【12月定例会の予定】

11月29日(水)	本会議・予算決算常任委員会
12月4日(月)	総務民生常任委員会(分科会調査)
5日(火)	産業教育常任委員会(分科会調査)
13日(水)	本会議(一般質問)
14日(木)	//
15日(金)	予算決算常任委員会
20日(水)	本会議

※状況に応じて、変更が生じる場合があります

本会議の様子はチャンネルO(サブチャンネル)で放映しています。

放映時間は以下のとおりです。

生放送 本会議開始時刻から
(午前10時から※)

再放送 本会議当日の午後7時から
※都合により、変更となる可能性があります



チャンネルOキャラクター
おーちゃん



9月定例会では多くの方に傍聴いただきました

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます)など、さまざまな情報を掲載しています。



編集後記

秋が深まり、本紙面は前号からカラーと構成を変え、見やすさに工夫を凝らしています。気づいた方はいらっしゃいますか？現在、広報推進特別委員会では今後の活動について熱い議論を交わしています。より充実した内容と時代に合う広報を模索し、若い世代の方にも市議会での活動に興味を持っていただけるよう努めてまいりますので、今後ともご意見を寄せいただきますようよろしくお願いいたします。

広報推進特別委員会
委員 浦合 梨華子

皆さまの声を
お聴かせください



議会報告会を開催します

市議会では、「見える議会・開かれた議会」を目指し、市内全12地区へ伺い議会の活動を報告します。17人の議員が四つの班に分かれて伺います。報告会では市民の皆さまのご意見をお聴きし、今後の議会活動に反映します。

日時

11月10日(金)
19時30分～21時

開催地区

小浜(1班) 加斗(2班)
遠敷(3班) 国富(4班)

日時

11月15日(水)
19時30分～21時

開催地区

中名田(1班) 雲浜(2班)
内外海(3班) 今富(4班)

日時

11月22日(水)
19時30分～21時

開催地区

西津(1班) 口名田(2班)
宮川(3班) 松永(4班)

会場

各地区のコミュニティセンター(旧公民館)

班構成

1 班	2 班	3 班	4 班
浦谷梨華子 東野 浩和 藤田 靖人 池田 英之 富永 芳夫	佐野 達也 川代 雅和 竹本 雅之 下中 雅之	上野 一 杉本 和範 岡 泰宏 今井 伸治	世戸 玉枝 牧岡 輝雄 小澤 長純 池尾 正彦

内容

1. 定例会の報告について
2. 北陸新幹線について
3. 意見交換(市民の皆さまからのご意見やご質問をお聴きします)

今春の選挙以降、初めての開催となります。また、各地区での開催は4年ぶりとなります。お誘い合わせの上、ご都合のつく会場にお気軽にお越しください。